



川の工事をするとき、どんなふうに環境に注意するの

いろいろなことがらに注意して、工事をする

環境を守りながら、川の工事をするためには、次のような点に注意します。

まず、1年間を通して、環境や動物・植物などの状況を調査します。そして、季節ごとの特長をつかむようにします。

工事時期を決めるとき、生物を傷つけない時期を選びます。

水生動物がすみわけられるように、川の断面を見たとき、川の淵や瀬があり、水面の高さに差があるようにします。

川の床（底）が平らにならないように工夫します。

護岸に、できるだけ自然にあるものを利用します。

川の水が、にごらないような工法を使います。

堤防のまわりには、もともとある、現場の土を使います。土の中に、植物の種子や生物が

もともといる生物に、気を配った堤防造りをします。

よそから新しいものをもってこないように、注意します。今ある動物や、植物を守るためです。

河川工事が終わったあとに、環境の回復の程度をチェックし、環境を守る計画をもう一度検討し、必要なことを手当てします。（監修・保岡 孝之）

